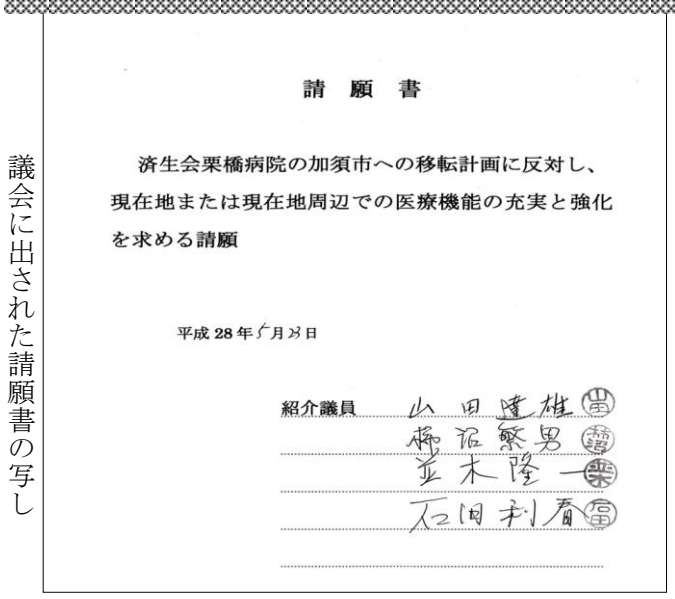
日本共産党久喜市議団　No.113

市議団ニュース

連絡先　　2016年5月29日号
杉野 修　58−9010　渡辺昌代　21−9058
石田利春　52−7260　平間益美　23−9519
【議員団控室（市役所4F）の住所・久喜市下早見85−3】
「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

済生会栗橋病院の存続を求めて請願出される！

石田議員が紹介議員になりました



請　願　書

済生会栗橋病院の加須市への移転計画に反対し、現在地または現在地周辺での医療機能の充実と強化を求める請願

平成28年6月23日

紹介議員　山田達雄　柿沼繁男　並木隆一　石田利春

議会に出された請願書の写し

地元から移転反対の声が上がっている済生会栗橋病院

「済生会栗橋病院の加須市へ移転計画に反対し、現在地または現在地周辺での医療機能の充実と強化を求める請願」が6月議会に提出されました。

久喜市栗橋医師会支部長、浅川実氏他7名・栗橋地区会長、峯義夫氏他45名の署名が添えられています。

紹介議員には、地元栗橋地区の議員、山田達雄、柿沼繁男、並木隆一、石田利春4名が名を連ねています。

請願の内容には、「旧栗橋町と医師会、地域住民が一体となり誘致したこと。突然の移転の発表に、命と健康を守ってくれる拠点病院を失うことに不安の声があること。済生会栗橋病院は、利根医療圏の適正な位置にある」と記述され、加須市への移転に反対し、現在地での医療機能充実に向け、議会として力を尽くしてほしい」と求めています。

請願は、議会の最終日となる7月1日に採択・不採択が決定します。

市民の力が行政を動かした！

東鷲宮駅地下道バリアフリー化事業
ようやく東側 エレベーター エスカレーター 供用開始へ！

24日、JR東鷲宮駅の東側地下道の「バリアフリー化」事業のうち、東側部分の完成式典が行われました。来賓として、姿を見せた元鷲宮町長の本多氏も、感慨ひとしおの様子でした。

5月 24 日15時から供用開始になったエスカレーター

式典で、元町長の本多氏ら

日本共産党は、地元住民や利用者から「もっと駅を便利に」の要望を受け、町議会、市議会と16年間にわたって行政に実現を求めて来ました。

今後は、中央・西側部分の事業着手に向けて全力を尽くします。

バリアフリー化事業　今後の課題について

「中央・西側はどうなるのか」

今回、完成したのは東側部分で、西側から駅舎に入るまでの工事は、これからです。

◆市は、「中央から駅舎（地上）に向かってエスカレーター、エレベーターで移動できるような工事を予定しているが、JR側との協議を重ねながら協定を交わす段取りになっている。

見通しとしては、今年度中に事業着手ができれば、と考えている。」と報告しています。

◆私たち日本共産党議員団としては、利用者の現状を考え、「1日でも早く工事に着手できるよう」市とJRに求めて行きます。

石田としはる

1. 済生会栗橋病院存続に向け市長の所信を伺う

加須市の間で「一部移転の覚書」を締結。田中市長は「了解したという立場ではない」と表明している。存続に向けた市長の所信と市の取り組みを聞く。

2. 南栗橋液状化対策、工事着工に伴う課題について伺う

地下水位低下工法による工事が開始された。事前調査の状況や家屋傾斜の結果はどうであったか。又、熊本地震で液状化による被災が発生している。学ぶべき教訓は。

3. JR 東鷲宮駅と栗橋駅の無人駅に伴う安全確保に向けた市の対応を伺う

始発から６時 30 分頃まで無人駅となっている。安心安全確保する意味からも有人化が求められ、市の対応を聞く。

4. 公共施設の統廃合の実施計画は利用者の声を反映させるべき

栗橋地区では「しずか館」と「ハクレン館」が統廃合される計画で、既に施設利用が予告制限されている。利用者の声を反映させ実施すべき。

5. 施設利用後の後片付け用器具整備充実を

施設の利用後、机や椅子など整理は利用者が担っている。高齢化に伴い、整理用器具備品など充実させ安全対策を。

渡辺まさよ

１、公立幼稚園の３歳児受け入れはどのようになるのか。

子ども園との教育環境の差を考えると早急に３歳児クラスを作るべきでは。

２、健康マイレージ事業　今後どのように進むのか。

前議会で検討とされた、検討内容は。

３、災害時対策避難所の充実を求める

久喜市の避難所の数。また、久喜市人口に対しての対応は。清久工業団地周辺地域企業に避難所として協力依頼をし、協定を結ぶことはできないのか。

４、認知症の方に対する支援事業の充実を

今年、社協では徘徊模擬訓練を一部地域で計画しているが、市としてはどのようにバックアップするのか。

５、理科大跡地利用の４割部分、６割部分、今後の予定と課題について

（１）物流会社が開発を公表しているが市の対応は。

（２）市の「地区計画」はどのように考えているか。

６、農業者トレーニングセンターの管理運営の改善を

これまでの在り方を変える理由は。無人化になることで、鍵を支所に取りに行くことなど、市民にとっては、サービス低下になる。行政サービス低下をさせてはならない。

６月議会で行なう予定の質問項目です

平間ますみ

(1) 特定健診の受診率向上に向けた取り組みを

特定健診を受診し、健康維持を行うことは医療費の削減につながり、健康な日常生活を行う上でも非常に重要です。特定健診の受診呼びかけを、かかりつけ医にも協力してもらう等、受診率を上げる必要があるという観点からいくつか質問します。

(2) ごみ処理についての改善を求める

本年４月よりごみ出し方が一部変更となりましたが、市民に充分理解されているとは言えません。また、言葉の問題で、外国人居住者とのトラブルもあると聞いています。更に高齢者世帯にとっては粗大ゴミを指定された場所に出すのも大変な作業です。援助が必要です。粗大ゴミ券補助等も含め、ごみ処理関係についていくつか質問します。

(3) 河川等水質調査結果を伺う

夏季と冬季の年２回、４６ヶ所で水質調査を行っていますが、最新の冬季調査の結果を見ると、２７番目の菖蒲市菖蒲 4989 先の場所で、水素濃度が異常に高い数字を示しています。原因や地域住民・河川への影響について質問します。

杉野おさむ

１　東京理科大学の跡地・施設を活用して「リサイクル事業」の推進を求める。

（現状では、まだ使用可能な家具や、日用雑貨などのほとんど全量が、焼却処分されています。もったいない。）

２　デマンドバスは、市民・利用者にとってより便利な公共交通としての運行内容に改善を図るよう求める。

（１）エリアを越えた運行に

（２）市境を越えた運行に

３　市の災害対策に関しては、熊本大地震の体験・教訓を生かしたものに改善を求める。

（１）「震災弱者」（障がい者、女性、子ども、高齢者など）の視点を入れた対策に。

（２）「震度７が２回」、「余震が１５００回を超えた地震」と想定外の地震だった。久喜市も見直しが必要では。

４　教員の勤務改善を図ることを求める

（１）勤務日において休憩・休息はとれているか。

（２）「時間外」の「勤務実態」はどうか

（３）「部活動」に要している時間が多いのではないか

アンケート実施などで、実態把握をするよう提案する。